

路面電車のあゆみ

大正7年に開催された北海道博覧会を機に札幌で路面電車が走り始めました。

昭和39年には、総距離25^{キロ}あった路面電車も、地下鉄の開業や自動車の普及に伴って徐々に路線が廃止され、昭和49年に現在の「西4丁目」から「すすきの」間の約8・5^{キロ}を残すのみとなりました。

しかし近年、路面電車の持つ「人や環境に優しい」などのさまざまな魅力が世界的に見直され、国内でも路面電車復活を検討する都市が出てき

ています。

現在札幌市でも、まちづくりと一体となった活用などの検討が進められています。

見直される路面電車

○人や環境に優しい!!

道路から直接乗り降りできるので、階段などが多い地下鉄に比べて人への負担が少なく、また、排出ガスを出さない環境にも優しい乗り物です。

○わかりやすく安心して!!

道路上の軌道を走るため、行き先などを目で見て確認でき安心感があります。また、車窓から、まちの景色を楽し

みながら移動できるのも魅力です。

○運行時間が正確!!

軌道上を走行するため、定時に優れています。

○まちづくりに貢献!!

車両や電車停留所なども含めたまちの全体的なデザイン化や路面電車のシンボル化により、个性的なまちづくりができ、まちの魅力向上にも貢献できます。

ここで紹介したような路面電車の特性を、まちづくりの中で上手に活用していくことが重要といえます。

さらに便利な乗り物へ

交通局では、平成19年11月から翌年3月にかけて研究機関などと共同で**新型路面電車の走行試験**(※)を実施しました。この車両は、バッテリーでも走行が可能な乗り降りしやすい低床式のもので、冬期運行の安全性などに関するデータを収集しました。



▶昭和36年当時の北3西2(提供:札幌市写真ライブラリー)



▶南6西14付近(現在)



▶ハイトラム



▶スイモ

※写真の試験車両は、実際に導入する車両ではありません。将来導入する車両については、今後検討を進めていきます。

市電に乗って行ってみよう



① 中島公園

緑と水が豊かで、園内にはコンサートホール Kitaraをはじめ、数多くの施設があります。
 中島公園
 電話 (51) 3924 (中島公園管理事務所)

② 札幌市埋蔵文化財センター

大昔の札幌の様子や土器などの文化財を展示しています。
 電話 (512) 4305
 南22西13 (中央図書館併設)

③ 札幌市資料館

札幌の歴史資料や、札幌出身の漫画家のおおば比呂司氏作品などを展示しています。
 電話 (251) 7310
 大通西13

④ 札幌市水道記念館

参加・体験型の施設やキッズルームなど楽しい施設がいっぱいです。
 今年の開館期間は4月11日(土)から11月15日(日)まで。
 電話 (561) 2808
 伏見4